

たていしこう

立石港（高松市管理地方港湾）

立石港は高松市の東端、源平古戦場として有名な屋島のたもとに位置しています。

本港は自然地形が良く、明治以前より機帆船の出入りも多く、商港として発達しましたが、近年陸上輸送の増大にともなって、その利用は減少し、かわって最近では、養殖漁業の発達により、水産品の輸送の基地として利用されるようになっていきます。

本港の整備は昭和 25 年から昭和 47 年にかけて、数回の整備が行われ、現在は平成 5 年より着手された拡張工事が鋭意、進められています。

